

## 野々市市第4期障害福祉計画(素案)のパブリックコメント実施結果

野々市市第4期障害福祉計画の策定にあたり、パブリックコメントを実施しましたので、結果をお知らせします。

市民の皆さまから貴重なご意見・ご提案をいただきありがとうございました。

このたび、実施結果と市としての考え方をまとめましたので、公表します。

### パブリックコメントの実施結果

案 件	野々市市第4期障害福祉計画(素案)
募集期間	平成27年2月9日から平成27年3月9日正午まで
意見の提出者数	1人
意見の提出件数	6件

### 意見の内容と市の考え方

	ご意見の内容	市としての考え方
1	結婚し、妊娠し、出産したら障害があった。呼吸を維持するために気管切開を開けなくては生きていけないといわれ泣く泣く了承しました。頑張って吸痰やいろいろのやり方を憶え帰宅し、何年か経ち社会に目を向けた時こんなに社会は冷たいと思いませんでした。助けていただいている事もあります。でも福祉なんですからもっと平等に色んな事(利用場所、利用の仕方)を考えて頂きたいと思います。	ご意見の趣旨は、素案 P3「基本目標」(3)に盛り込まれていますが、新たに、P29(地域生活支援拠点整備)に、「…重度の心身障害のある方等の地域生活への対応」を追加し、P40に、日中一時支援事業の重症の心身障害のある方(児)の利用について追加しました。
2	P11.26 「また特別支援学校、職業訓練校が立地している」となっていますが、障害児は地域の学校でも何人も通っていることを把握できていないです。共生社会の初めは幼少期が大事。小さい子供時代から障害のある子と障害のない子が共に学ぶ仕組みインクルーシブ教育に取り組んでいる野々市市内の学校の事を記載しないで共生社会とは言えないと思います。	ご指摘いただいた趣旨を基に、P12に、市内小中学校の特別支援学級及び通級指導教室の学級数と在席人数を掲載することとしました。

	意見の内容	市としての考え方
3	<p>特別支援学級の子ども達は同級生が出来ること。自分には心がうまくコントロール出来なくてできない子。でもできる子を見て悔しくなったり、自分に自答したり・・・また障害のない子も障害のある子に対し「できない」ことへの考え方が変わり自然に子ども同士の関わりが出来ている姿を娘に付き添う中で何回も目にしてきました。本当の社会を見せずに訓練やスキルを身に着けても結局、人間関係で会社を辞める障害者が多いです。それは障害のない人とのかわりをしてこなかったからではないでしょうか?本当の社会を経験しながら技術やスキルを身に付けさせてあげることが就労への近道だと思います。</p>	<p>本市では、就学・教育相談の際に保護者の意見を丁寧に伺うとともに、関係機関とも連携し、保護者への適切な情報提供などを経て選択された就学先を決定するなど、一人ひとりに応じた支援を行っています。</p> <p>いただいたご意見も参考にしながらP3「基本目標」(6)の実現に向けて着実に進めて参ります。</p>
4	<p>障害者や障害児の親である当事者がより多く参加し、障害者や障害児の親のための福祉計画書が完成することを切望します。</p>	<p>いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>
5	<p>先日市職員による訪問がありました。ただこのパブリックコメントの話はありませんでした。市は気が付いてほしくなかったのでしょうか。</p>	<p>市ではパブリックコメントを実施する前に、当事者の方々も委員をお願いしています市障害者自立支援協議会に素案を提出してご意見を伺いました(h26.10)。</p> <p>また、市内の当事者団体・家族団体の皆さまに対して1箇月間の意見募集をお願いし、修正した素案について報道発表した上で、パブリックコメントさせていただきました。</p> <p>今後ともできるだけ多くの方々のご意見により市が策定する計画がよりよいものになるように努めて参ります。</p>

	意見の内容	市としての考え方
6	<p>P1「共生社会を実現するため」と書いてありますが、この計画書は障害者の区分や受け入れ場所、今後の方策についても障害者(児)の集まる場所の記載で共生社会の意味を間違っていると思います。</p>	<p>市障害福祉計画(素案)については、P5 <b>障害者総合支援法の概要</b>のとおり、障害者総合支援法の基本理念の実現に向けた対応の一つであり、「サービス基盤の計画的整備」として位置づけた計画であります。</p> <p>地域における共生等、障害のある方等の自立及び社会参加の支援等の施策の総合的な計画は、次期障害者基本計画において策定して参りたいと考えております。</p>